

令和4年度富山県手話施策推進協議会の主な意見

日時：令和5年2月2日（木）午後2時～午後3時

場所：富山県庁4階大会議室

議題：（1）本県における手話関連施策について

（2）難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針について

（3）その他

委員からの主な意見

（1）出前講座等の広報について

- ・ チラシの内容が少しわかりにくい。公民館や学校、会社、障害者団体、障害者施設など各分野に応じた手話普及チラシを作る必要があるのではないかと思う。あわせて、簡単な内容のテキストや動画があればよい。
- ・ 滑川市では、市で講座を実施しているので、県が主体になって講座を開催するなどして、市町村を後押ししていく必要があるのではないか。

（2）手話通訳者等について

- ・ 今年度ある市から来年度に是非手話通訳者を設置したいという要望をいただいた。手話通訳というのは資格を取得するまでに長い期間を要する。難しい仕事だということを受け止めて、正職員並みの待遇や保証を考えて、正職員として採用してほしい。
- ・ しっかりした手話通訳者証を作してほしい。
- ・ 報酬単価が低いので、全国の状況を調べてほしい。

（3）盲ろう者について

- ・ 実際に意思疎通支援を受けている盲ろう者は非常に少ない。盲ろう者は情報を得ることが難しいと思うので、様々な支援をしてほしい。

（4）手話パフォーマンス甲子園について

- ・ 来年度、鳥取県で開催される手話パフォーマンス甲子園へ県内の高校からも出場されるよう、働きかけをお願いしたい。

（5）難聴児支援について

- ・ 難聴児のための協議会をいつごろ設置するのか、また、年何回程度の会議を開催するのかということもあわせて、相談いただきたい。協議会のメンバーには、県リハビリテーション病院・こども支援センターの言語聴覚士、ろう学校や特別支援学校の難聴児を支援する早期教育に携わっている方々、センター的機能を担う先生方、当事者団体として、聴覚障害者協会あるいは情報提供先としての聴覚障害者センター、耳鼻咽喉科の医師の方々を考えている。あわせて障害福祉課や教育委員会にも入っていただけたら良いと考えている。まずは、子どもたちの実態を十分に把握するために情報交換をすることが大事ではないかなと思う。その上で、どのように連携していくかが、富山県の課題になるかと思う。幼児期だけではなく、中学校、高校、大学、という発達段階において、必要な支援ができるためにはどうしたらいいかということもあわせて協議していただければと思う。